

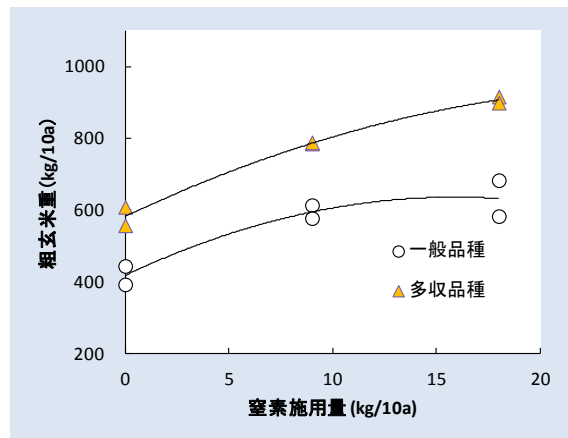
堆肥を活用する飼料用米生産の肥培管理

目的と特徴

- 10a当たり粗玄米収量800kg水準の飼料用米生産において、耕畜連携の促進につながる堆肥活用を基本とする施肥条件を検討しています。
- 寒地～暖地に適応した多収品種と各地の地域特性に応じた堆肥利用を組み合わせ、化成肥料の節減による肥培管理法と低コスト栽培法の確立を目指しています。



多収品種の活用で
800kg/10a超の多収栽培



多収品種は施肥窒素当たりの収量が高い

飼料用米品種に適合した肥培管理法の確立が急務



耕種農家

畜産農家



堆肥活用を基本にした肥培管理
多収品種の生育特性の解明

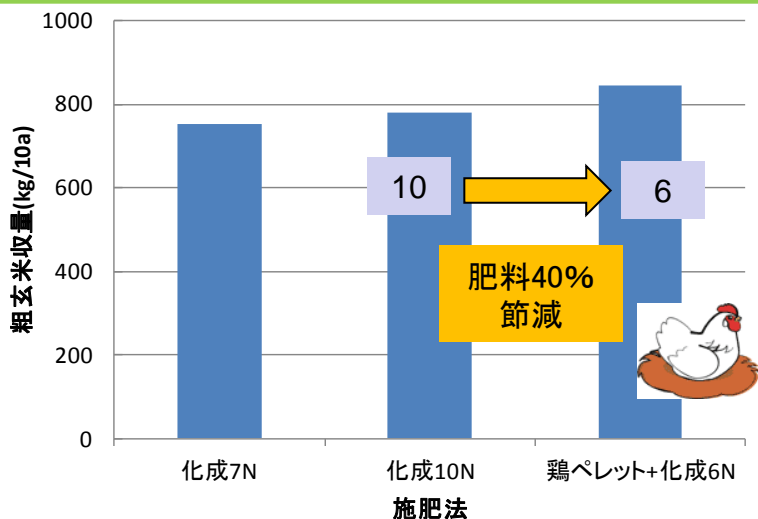
肥料費の節減
耕畜連携の促進

収量 800kg/10a
化成肥料の堆肥代替 30%以上
環境負荷や土壌肥沃度も考慮した肥培管理法確立へ

成果

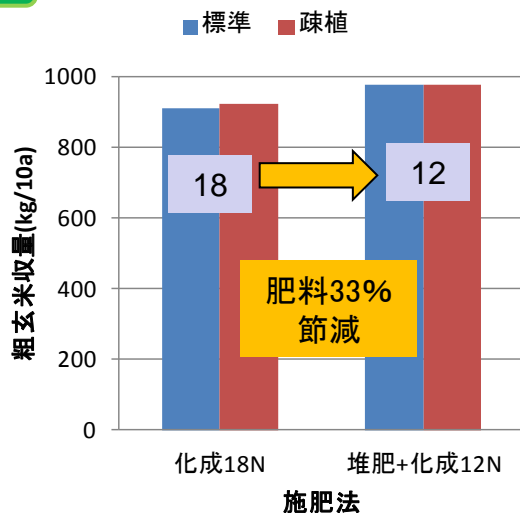
- 寒地～暖地に適応した多収品種を用いて800kg/10a以上の多収栽培を実現しました。
- 地域特性に対応した家畜ふん堆肥の利用により、化成肥料を30%以上節減します。
- 耕畜連携による玄米+わら利用と圃場への家畜ふん堆肥利用の継続条件での土壌成分の変化をもとに、環境負荷や土壌肥沃度を考慮した最適な肥培管理法を検討中です。

各地における堆肥利用による化成肥料節減事例

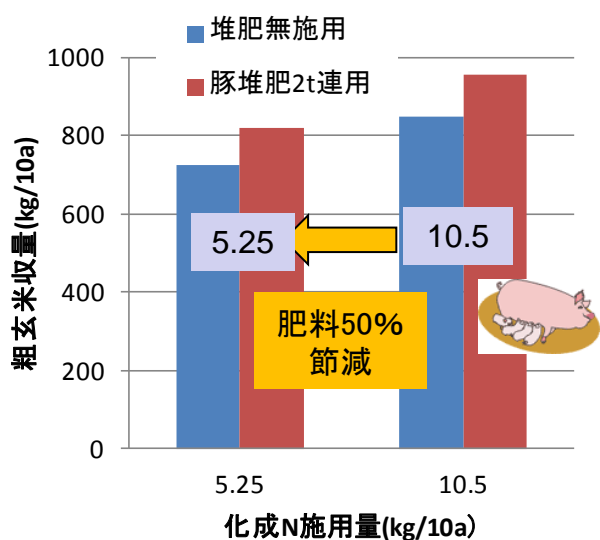


鹿児島県農業開発総合センター
鶏ふんペレットの利用、品種:ミズホチカラ

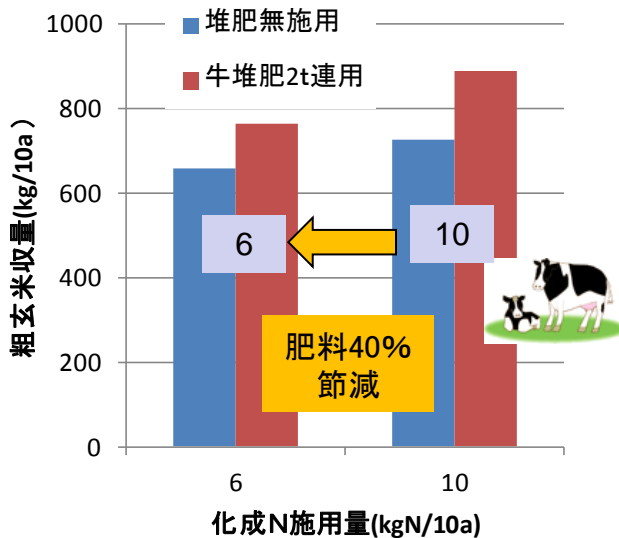
化成窒素肥料の一部を各種堆肥で代替



東北農業研究センター
牛・豚・鶏ふん混合堆肥利用、
品種:べこあおば



北海道農業研究センター
豚ふん堆肥の利用、品種:たちじょうぶ



中央農業総合研究センター
牛ふん堆肥の利用、品種:北陸193号

堆肥の種類とリン酸、カリ含量の収支、堆肥利用のコストについても検討中

対象作物、普及対象

- ・ 水稻、全国

対象農家

- ・ 飼料用米生産農家、耕畜連携による堆肥活用が可能な経営

必要な道具

- ・ 堆肥散布機

関連HP

http://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/project/jiky_pro/O29451.html

その他

- ・ 多収品種の利用が前提です（普通品種では倒伏や低収が懸念される）。堆肥施用量の決定については、利用堆肥の成分の確認や圃場の土壌診断に基づく必要があります。